



ご あ い き つ

熊本県中学校体育研究会会長 岩下 昭彦

平成30年度熊本県中学校体育研究会の各取組は、「平成」最後の年と重なり、私たちの記憶に刻まれる平成30年度となりました。また、中学校体育連盟とともに創立70周年を迎え、多忙な中にも一層充実したものとなりました。県内の保健体育教師の総力で大きな成果を残しつつ、無事に終了できましたことに感謝いたします。

また、熊本県・熊本市の教育行政及び関係教育行政の方々の丁寧な御指導・助言は一層取組の質を向上させていただきました。感謝申し上げます。

特に、本年度研究発表を担当していただいた天草郡市の関係者の皆様の御尽力に対し敬意を表します。「学びに向かう力を高める授業の在り方を通して」という研究テーマで天草の子どもたちの実態を十分理解した授業が公開され、県内の保健体育教師に多くの示唆を与えていただきました。

また、スポーツ庁政策課教科調査官の高橋修一氏の講演では、「自他の課題を発見し、その解決に向けて思考・判断し、それを他者に伝える」の意味や事例を具体的に示していただき今後の意欲向上につながりこともできました。

保健体育教師の実技研修を担当いただいた阿蘇郡市では、車いすバスケットボールの体験研修が計画され、保健体育教師の指導の幅を広げるとともに、心にも栄養を蓄えたのではないかと推測します。

今後の中学校体育研究会は、平成33年から全面実施の新学習指導要領の円滑な移行及び確実な理解に基づく保健体育授業の効果的な指導法等をめざし、県内の保健体育教師が総力を挙げて取り組めるよう尽力して参ります。

そして、保健体育教師の重要な責務である、各勤務校での生徒、教職員、保護者からの信頼が基盤になるよう努力を続けていく所存です。

結びに、本研究会及び県内の保健体育教師に対し、御指導・御助言を賜っております熊本県・熊本市の教育行政をはじめ、関係教育機関の皆様から心から感謝いたしますとともに、今後の御指導・御支援をお願い申し上げます。